

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度相模原市地域保健医療審議会 保健医療計画推進部会		
事務局 (担当課)		健康福祉局保健所地域保健課 電話042-769-9241(直通)		
開催日時		平成30年11月30日(金) 午後8時から午後9時20分まで		
開催場所		総合保健医療センター A館7階 視聴覚室		
出席者	委員	10人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	15人(保健所長 他14人)		
公開の可否		可 不可 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 委員紹介 3 会長及び職務代理の選出について 4 議題 (1) 相模原市保健医療計画(第2次後期)の概要について (2) 計画に係る主な事業の進捗状況について (3) 健康増進事業「健活!さがみはら」について 5 その他		

審 議 経 過

会長選出後、冒頭に出席委員の人数が定足数に達していることを確認し、その後、議題について審議した。

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

3 会長及び職務代理の選出について

- ・ 委員の互選により原田委員が部会長に選出された。

会長・・・一般社団法人相模原市医師会 原田 工 氏

(以下、原田会長により議事を進行)

- ・ 会長の職務代理は原田会長の指名により、土屋委員が選出された。

職務代理・・・公益社団法人相模原市病院協会 土屋 敦 氏

4 議題

(1) 相模原市保健医療計画(第2次後期)の概要について

相模原市保健医療計画(第2次後期)及び同計画概要版により、計画策定の趣旨、計画の位置付け、計画の期間、基本的な考え方を説明した。

(2) 計画に係る主な事業の進捗状況について

資料1により、前計画に係る平成29年度の主な事業の進捗状況、資料2により、第2次後期計画に係る平成30年度の主な事業の進捗状況について説明した。

【主な意見等】

健幸ポイントモデル事業について、多くの市民の健康につながる良い事業だと思うが、今後の在り方はどのように考えているのか。

平成28年度からの3年間のモデル事業であり、平成30年度で終了する。本事業の実施により、参加者1人当たり平均で3,000歩の歩数増加が見られた。調査は行っていないものの医療費の削減が見込まれると考えている。

しかし、現在と同様の事業で参加人数を増やすことは財政上困難である。

今後は、スマートフォンを使用できる方は全員参加できるように仕組みを変えたい。一方でスマートフォンを持っていない又は使用できない市民向けに紙ベースの方法も取り入れたい。また、協賛企業を募って参加者に抽選で市の特産品などが当たるような取組など詳細については今後検討する。

生活害虫等駆除事業について、スズメバチ駆除の見直しがあったとのことだが、詳細について伺いたい。

昨年度まで市民の自宅の巣の駆除を行ってきたが、工場等は対象外としていた。一般市民との不平等の解消のため、事業を見直した。今後、スズメバチの巣の駆除は建物の管理者にお願いしていく方向である。

また、ミツバチなど危険性が低いものは、防護服の貸出しや駆除方法の助言をしている。その結果、市民から自分で駆除できたとの報告もいただいている。

スズメバチの巣の駆除費用はどのくらいかかるのか。

巣の大きさや場所によって異なってくるが、小さいもので1万円前後、大きいものでは2万円から3万円を超えることもあると聞いている。

市は特定の事業者を紹介できないため、事業者団体の集まりである協会を紹介している。

いきいき百歳体操事業について、自治会館など様々な場所で、百歳体操を行っているグループがある。現在の市内のグループ数と人数はどのくらいか。また、どのような職員が支援しているのか。最後に担い手の養成は必要と考えるが、体操を教える場合に資格は必要なのか。

11月現在、市内に208団体、3,584人が百歳体操を行っている
と把握している。

グループを訪問する市の職員は作業療法士である。現在、多数の派遣依頼があり、順番待ちをお願いしている。

また、百歳体操を教える場合に特別な資格は必要ないと承知しているが、本日担当部署の職員は出席していないため、後日確認を行い、報告する。

百歳体操は、数回実施するだけでも効果があると言われている。普及啓発を進めてほしい。

毒物・劇物営業施設に対する監視指導業務について、施設の新規開設時に実施する現地調査との違いは。

現地調査は、新規開設時に行うほか、許可期間が6年間であるため、目安として3年目と更新時に現地調査をしている。

この事業は、これまでも実施しており、第2次後期計画の策定に当たり、今回から進行管理に位置付けた業務である。

市は、第2次後期計画で危険ドラッグの使用や喫煙をやめるように定めている。しかしながら、相模大野駅北口のバスターミナルに設置されている喫煙スペースに「たばこ税の税収45億数千万円」というチラシのようなものが張られていると聞いた。たばこを吸えば税収があがる、と市がいうのはおかしいのではないかと。市はたばこをやめさせたいのか、税収増のためにたばこを認めるのか充分検討してほしい。

どのようなチラシが張られているのか現地調査をするとともに、担当部署に伝える。

医療職、介護職の人材確保は重要である。2025年までに国が外国人労働者を増加させる方針である。市は外国人介護人材の確保はどのように行っているのか。また、介護人材を担当する窓口はどこか。

経済連携(EPA)に基づく受け入れを行っている事業所があることは承知している。市では介護人材の確保・定着・育成に向けた様々な取組を行っている中で、国際交流ラウンジと連携して外国人に向けた周知を行った事業はあるが、外国人介護人材の受入れに関する取組は具体的に行っていないことから、今後は介護の仕事につながる取組について検討していきたい。また、介護人材に関する窓口は高齢政策課である。

百歳体操の実施会場に知人が行ったところ、コミュニティに違いを感じ、帰ってきたとのこと。他市では対象者を決めているところもあるようだが、市は参加者をどのように決めているのか。

百歳体操に参加するに当たり、特段の資格はないと聞いているが、本日担当部署の職員は出席していないため、後日確認を行い、報告する。

多数の職場で発達障害の人がいると聞いている。職場での理解を進めるセミナーなど市として何らかの取組を行っているか。

本日の会議に発達障害の担当部署の職員は出席していないため、後日確認を行い、報告する。

人生の最期について健康なうちから意思決定をするべきと考える。市はACP（アドバンス・ケア・プランニング）について普及啓発活動を行っているか。

今後取り組む必要があると考えている。関連する会議で意見をいただきたい。

救護所の訓練を実施していることは認識しているが看護師の参加が少ないと感じる。参加者を増やす工夫と、災害時の救護所において、看護師の役割についての研修を検討してほしい。

災害時医療に看護師の力は必要と考えている。看護師の参加者を増やす工夫や研修について、関連する会議で意見をいただきたい。

（３）健康増進事業「健活！さがみはら」について

チラシを使用して事業内容について説明。

5 その他

- ・ 参考資料に基づき使用して本市の健康寿命の状況を説明した。
- ・ 会長から、事務局に対し、本日の部会での各委員からの意見や要望を十分に踏まえ、事業を進めるよう要望され、閉会。

以 上

平成30年度 相模原市地域保健医療審議会保健医療計画推進部会

出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠
1	原田 工	一般社団法人 相模原市医師会	会長	出席
2	土屋 敦	公益社団法人 相模原市病院協会	会長職 務代理	出席
3	加藤 茂之	公益社団法人 相模原市歯科医師会		出席
4	大岡 元	公益社団法人 相模原市薬剤師会		出席
5	渡邊 加代子	公益社団法人 神奈川県看護協会相模原支部		出席
6	森川 哲郎	相模原市自治会連合会		出席
7	高部 博	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会		出席
8	松田 正則	相模原市健康づくり普及員連絡会		出席
9	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体 わかな会		出席
10	飯田 由美子	特定非営利活動法人 神奈川県歯科衛生士会相模原支部		出席